

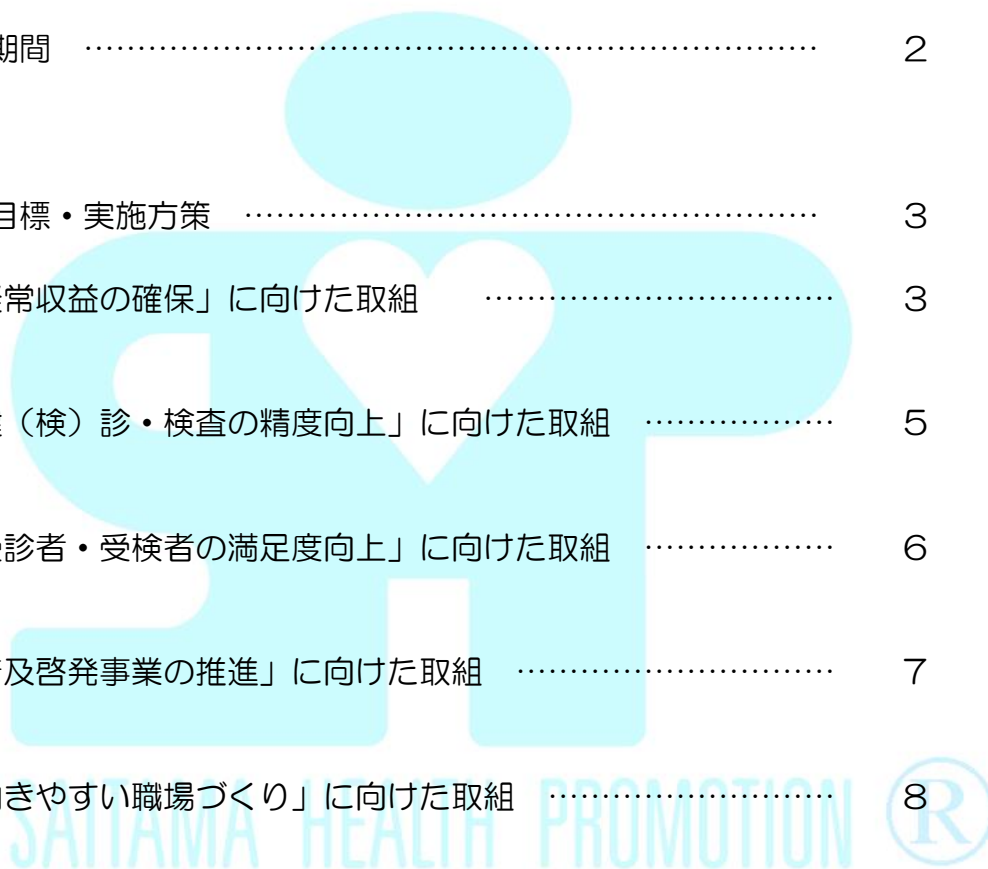
中期経営計画

令和4年度～令和6年度



公益財団法人
埼玉県健康づくり事業団

基本理念・基本方針	1
1 はじめに	2
2 計画期間	2
3 経営目標・実施方策	3
(1)「経常収益の確保」に向けた取組	3
(2)「健（検）診・検査の精度向上」に向けた取組	5
(3)「受診者・受検者の満足度向上」に向けた取組	6
(4)「普及啓発事業の推進」に向けた取組	7
(5)「働きやすい職場づくり」に向けた取組	8
(6)「環境への負荷低減」に向けた取組	9
4 収支計画	10



基本理念

埼玉県内において、住民健診、職域健診、学校健診等の各種健診、作業環境測定、結核・がん等の疾病予防及び健康づくりに関し必要な事業を行い、もって疾病予防、疾病の早期発見及び健康の保持・増進を推進し、県民等が健やかな生活を送ることができるよう支援する。

基本方針

1 法令等の遵守

健診、検査、作業環境測定の専門機関としての社会的責任を自覚し、常に諸法令を遵守して業務を遂行します。

2 精度管理及びサービスの質の向上

専門機関として、各種団体が主催する精度管理事業に参加するとともに、技術研修等へ積極的に参加し、精度の維持・向上に努めます。

また、健診等のサービスの質の向上を図ることにより社会的価値を高め、顧客満足度の向上に努めます。

3 個人情報保護

情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの実施により、お客様の個人情報の保護を適切に行います。

4 人材育成

働きやすく、働き甲斐のある職場づくりに取り組み、職員個人の能力を最大限に発揮できるよう、時代に即応した人材育成に努めます。

5 環境保全

医療廃棄物、その他廃棄物の処理を適正に行い、環境保全に努めます。

また、省エネルギー・省資源の推進を図り、事業の実施に伴って環境に与える負荷の軽減に努めます。

1 はじめに

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団は、県内における健（検）診・検査事業の中核的な機関として、設立以来「すべての人々の健康を願って」をスローガンに、顧客満足度の向上を心がけ、県民の皆様の健康の保持・増進に努めてきました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は保健医療分野にも深刻な打撃を与え、とりわけ地域住民を対象としたがん検診は受診者数が大幅に減少し、がんの早期発見・早期治療の遅れにつながることで懸念されています。

また、近年では、「SDGs～持続可能な開発目標～」の推進、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の導入、健診結果（ビッグデータ）を活用した健診受診率の向上等への取組が求められています。

当事業団では、このような時代の変化に対応すべく、基本理念・基本方針に基づき、「経常収益の確保」、「健（検）診・検査の精度向上」、「受診者・受検者の満足度向上」、「普及啓発事業の推進」、「働きやすい職場づくり」、「環境への負荷低減」の6つの取組を柱とする「中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」を策定しました。

これらの取組の着実な実施により、事業の強化・拡大及び経営基盤の安定化を図り、県民の皆様から一層の信頼をいただける健診機関への変革を目指してまいります。

2 計画期間 令和4年度から令和6年度まで

3 経営目標・実施方策

(1) 「経常収益の確保」に向けた取組

【経営目標】

安全・安心で質の高い健康診断・検査・作業環境測定業務を提供するため、経常収益の確保を図ります。

経常収益（目標額） (単位：千円)

令和4年度	1,987,486
令和5年度	2,075,000
令和6年度	2,120,000

【実施方策】

ア 地域保健事業における受診者数の回復

新型コロナウイルス感染症予防に万全を期した上、各市町村への受診受入数の制限緩和及び地域住民への受診啓発の働きかけにより、コロナ禍以前の受診者数の9割回復を図ります。

将来的には、コロナ禍以前の受診者数を上回ることを目指します。

イ 職域保健事業の拡大

職域保健事業の営業を強化（担当職員の増員、ホームページの充実、DM発送の拡充等）するとともに、これまで以上に綿密な営業活動を行うことにより、職域保健事業の拡大を図ります。

ウ 学校保健事業における受診者数の維持

法定外項目（脊柱側弯検査、貧血検査、小児生活習慣病予防健診等）の提案、日程の効率化を実践し、受診者数の維持を図ります。

エ 作業環境測定事業における働く人たちの健康を守る提案

年々増加する新規化学物質のリスクアセスメントツールとして、作業環境測定や個人ばく露濃度測定の実施により、働く人たちの健康を守る提案をします。

オ 業界団体・関連企業等との連携強化

全国健康保険協会、埼玉産業保健総合支援センター、埼玉県社会保険労務士会、埼玉県行政書士会、日本産業カウンセラー協会、日本労働安全衛生コンサルタント会、各市町村商工会等との連携を強化することにより、主に職域保健事業及び作業環境測定事業の拡大を図ります。



最新鋭の胃・胸部併用エックス線デジタル検診車「胃・胸8号車」

(2)「健（検）診・検査の精度向上」に向けた取組

【経営目標】

健康診断精度の維持・向上を図るため、第三者機関が主催する精度管理事業へ積極的に参加し、全ての項目においてA評価を取得します。

また、情報セキュリティ対策及びリスクマネジメントの実施により、お客様の個人情報を適切に管理します。

【実施方策】

ア 精度管理事業のA評価取得

第三者機関が主催する精度管理事業へ積極的に参加し、A評価となった項目については、引続き精度の維持・向上を図ります。A評価とならなかった項目については、その要因を分析・改善し、A評価の取得を目指します。

また、関係職員を技術研修等へ積極的に参加させ、精度の維持・向上を図ります。

イ 個人情報の適切な管理

情報セキュリティ対策及びリスクマネジメントの実施（各部署にて個人情報リスクアセスメントシートを作成）により、お客様の個人情報を適切に管理します。

ウ AI（人工知能）による読影精度の向上

AI（人工知能）技術を読影（判読）システムに導入し、読影作業の効率化及び精度の向上を図ります。

(3)「受診者・受検者の満足度向上」に向けた取組

【経営目標】

受診者等に満足いただけるサービスを提供するため、検査精度の向上、迅速な健（検）診結果の処理、親切・丁寧な接客を図ります。

また、健（検）診から保健指導・作業環境測定までの総合的保健事業を推進し、他事業者との差別化を図ります。

さらに、受診者等のニーズ・満足度を正確に把握するとともに、人間ドックのオプション検査項目の新設（2項目）に取り組みます。

【実施方策】

ア 迅速な健（検）診結果の処理

QRコードによる健（検）診結果帳票の振分作業をオートメーション化し健診結果の迅速な提供を図ります。

イ インターネットを活用した健診予約・申込の受付

施設健診及びサテライト健診における予約・申込の受付をインターネットから行える体制を確立します。

ウ 親切・丁寧な接客

職員を接客研修に積極的に参加させ、より親切・丁寧な接客を図ります。

エ 総合的保健事業の推進

企業が行う保健事業に係るサポート（健診事後指導や健康相談、作業環境の改善に係る指導・助言）や特定健康診査における当日の保健指導（初回面接の分割実施）の実践等の総合的な保健事業の推進を提案します。

オ 受診者等のニーズ・満足度把握

受診者及び顧客担当者のニーズ調査を行い、受診者等の満足度を正確に把握するとともに、寄せられた意見・要望の実現、人間ドックのオプション検査項目の新設（2項目）に取り組みます。

(4)「普及啓発事業の推進」に向けた取組

【経営目標】

埼玉県・市町村・県及び各郡市医師会・各種団体等との連携のもと、県民の健康意識の向上を図ります。

【実施方策】

ア インターネットを活用した普及啓発活動

事業団のホームページやSNS上にて、がん教育や保健指導等の動画を公開するなど、インターネットを活用した普及啓発活動を実施します。

イ マスメディアを活用した広報活動

新聞・テレビ・ラジオ等のマスメディアを活用し、広く県民の皆様へ疾病予防・健康増進に係るメッセージを発信します。

ウ 企業等との連携による普及啓発活動

健康増進・疾病予防等に積極的に取り組んでいる企業や団体と連携した普及啓発活動を実施し、働く県民の皆様の健康意識の向上を図ります。



母の日にちなんだ乳がん啓発イベント

(5)「働きやすい職場づくり」に向けた取組

【経営目標】

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、全ての職員が生き活きと、そして事業団で働くことに喜びを感じられる職場づくりに取り組みます。

【実施方策】

ア 働き方改革の推進

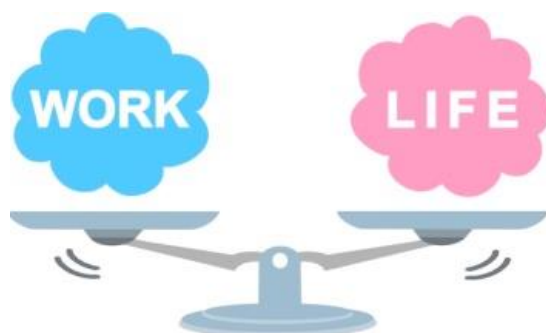
職員の労働生産性の向上を図り、時間外労働の縮減と年次有給休暇の取得促進に取り組みます。

また、職員が効率的に働くことができるよう、フレックスタイム制の導入等に取り組みます。

イ 業務の効率化

時代の変化に合わせ、適時、適切に業務を見直すとともに、業務の効率化に資する機器等の導入を図ります。

また、内部事務（各種申請・報告・連絡調整）におけるペーパーレス化を推進するとともに、情報処理部門にRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の技術を導入し、業務の迅速化・省力化を図ります。



(6)「環境への負荷低減」に向けた取組

【経営目標】

省エネルギー・省資源への取組を推進し、環境への負荷低減を図ります。

【実施方策】

ア エコドライブの実践による燃料及び排出ガスの削減

エコドライブを実践し、国土交通省が提唱する二酸化炭素排出量の目標値（自動車地球温暖化対策実施状況報告書）の達成を目指します。

また、自動車の利用により排出される窒素酸化物（NO_x）や粒子状物質（PM）、温室効果ガスの削減を図るため、低公害車や低燃費車の導入、適性運転の実施、環境配慮行動を徹底します。

イ ペーパーレス化の推進

各種手続きのペーパーレス化を推進し、経費節減及び環境負荷低減を図ります。

ウ 有害物質分析業務に係る水使用量の削減

有害物質分析業務の器具洗浄において、洗浄前の払拭や適切な洗浄剤の使用により、水使用量の削減を図ります。

4 収支計画

(単位：千円)

科 目	R4年度予算	R5年度予算	R6年度予算
地域保健事業	556,128	625,000	650,000
職域保健事業	1,021,331	1,038,000	1,055,700
学校保健事業	282,491	282,600	283,000
測定事業等その他	127,536	129,400	131,300
収入合計	1,987,486	2,075,000	2,120,000
事業費	1,894,142	1,956,891	2,001,891
管理費	88,109	88,109	88,109
支出合計	1,982,251	2,045,000	2,090,000
当期経常増減額(※)	5,235	30,000	30,000

※当期経常増減額の増加分については、資産取得資金として次年度の機器等資産購入資金に充当します。



HEALTH FOR ALL

～すべての人々の健康を願って～

